

## CM 素材のオンライン（ファイル化）への送出部の対応

送出部

### 1. はじめに

2017年10月より、テレビCM素材のオンライン運用がスタートしました。それに伴いHBCでも対応設備を導入し、翌月からCMオンライン搬入による運用を開始しています。

設備はマスター機械室内にも設置していますが、ここではCMバンクに導入したファイル再生機を中心に、送出部で導入を担当した箇所の概要について説明します。

### 2. 導入経緯について

当初の計画では2018年度を待ってCMオンライン対応設備を導入する予定でしたが、道内他局の動向も考慮して、2017年11月から実施するべく計画を前倒しました。導入に対する取り組みは地域により温度差がある状況

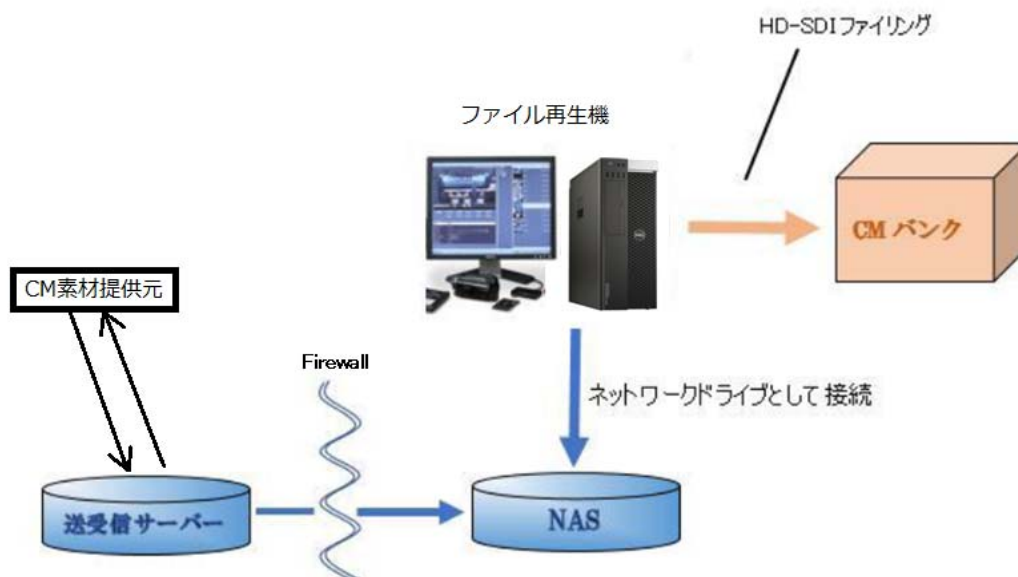
です。

### 3. CMオンライン運用概要

これまでCM素材は、テープや光学ディスク等のメディア媒体で搬入されてきました。今回のCMオンライン運用においては、CM素材の提供元から放送局内（HBCではマスター機械室）に設置された送受信サーバに、ファイル形式のデータ（MXF、XMLファイル他）として送られてくる事になります。

それらは所定のタイミングでHBC側設備のNASサーバに転送されて、CM素材データとして保存されます。

そのファイル素材を基に、CMバンク室のファイル再生機からネットワーク経由でCM素材の登録作業を行う形となります。



#### 4. CMオンライン導入設備

○設備ラック (マスター機械室)

- ・NAS サーバ、CIFS アクセス用 PC、CM 素材登録データ用 PC、コンソールドローワー、Firewall、SW-HUB



CM オンラインラック  
(マスター機械室)

○CM バンク

- ・ファイル再生機更新  
(既設は 2011 年導入)  
WS 本体と CM オンライン対応オプションソフトを追加  
※バーコードリーダー：システム部

#### 5. CMバンク登録作業

これまでファイル再生機は、光学ディスクで搬入された CM 素材の再生用に使われていました。今回 CM オンライン対応のソフト機能が追加された事で、同じネットワーク上にある NAS の CM 素材を再生する事が出来る様になりました。



ファイル再生機では、NAS の素材格納用フォルダをネットワークドライブとして設定する事で、その中の CM 素材のスタンバイ再生が可能となります。

実際に素材格納フォルダ内には、CM 素材毎のフォルダ〔CM\_10桁 CM コード (例) CM\_1234567890〕が作成されて、更にその中の所定のフォルダ内に CM 素材 (MXF)、メタデータ (XML)、ハッシュ値がそれぞれ保存される形となります。

ファイル再生機の操作画面上には、10桁 CM コードを入れる欄があり、そこに入力することで、上記格納フォルダ内から同じ 10桁 CM コードの素材を探し出して、スタンバイ・頭出しまでを自動で行います。

スタンバイ完了後は、CM バンク側で収録を開始すると、ファイル再生機ではそのスタート制御を受けて、CM 素材を再生してバンク収録を行う流れとなります。

また、今回 10桁 CM コードの入力

については、システム部の対応により  
バーコードによる運用が可能となっ  
ており、人間が数字入力をしないこと  
でミスが減らしています。

## 6. 最後に

今回 CM オンライン対応では、ファ  
イル再生機の更新タイミングにも重な  
り、一気に設備の入れ替えが出来た事  
は、非常に効率的でした。

ファイル化やオンライン運用自体に  
は様々なメリットがありますが、これ  
までとは違う運用になりますので、ト  
ラブル発生時の対応策の確保も重要で  
あると感じました。今後ファイル素材  
やネットワーク経由の素材搬入を受け  
入れる場合は、その辺りも十分検討し  
た上でシステムを検討し、導入を進め  
ていく事が不可欠と考えます。